

避難情報

この冊子の記事情報は、2024年8月現在のものを使用し作成しております。最新の情報は由布市のホームページよりご確認ください。

警戒レベルについて

集中豪雨や台風などによって、水害や土砂災害などの災害が発生するおそれがあるとき、どの情報をもとに、どのタイミングで避難をするべきか？それぞれの状況に応じて避難できるよう、災害発生危険度と住民の方々が取るべき行動を5段階の「警戒レベル」を用いてお伝えします。

避難情報等 (警戒レベル)				河川水位や雨の情報 (警戒レベル相当情報)	
警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	避難情報等	防災気象情報(警戒レベル相当情報)	
				浸水の情報(河川)	土砂災害の情報(雨)
5	災害発生 又は切迫	命の危険 直ちに安全確保! ・警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。 ・警戒レベル5緊急安全確保の発令を待ってはいけません! ・ただし、警戒レベル5は、市区町村が災害の発生・切迫を把握できた場合に、可能な範囲で発令される情報であり、必ず発令される情報ではありません。	緊急安全確保	5相当	氾濫発生情報 大雨特別警報 (土砂災害)
~~~~~ <警戒レベル4までに必ず避難!> ~~~~~					
4	災害のおそれ高い	<b>危険な場所から全員避難</b> ・災害が発生する危険が高まっています。速やかに危険な場所から避難しましょう。	避難指示	4相当	氾濫危険情報 土砂災害警戒情報
3	災害のおそれあり	<b>危険な場所から高齢者等は避難</b> ・避難に時間のかかる人(高齢者、障がいのある方、乳幼児等)とその支援者は危険な場所から避難をしましょう。その他の人も避難の準備や、自主的に避難を開始するタイミングです。	高齢者等避難	3相当	氾濫警戒情報 洪水警報 大雨警報
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・高潮注意報	2相当	氾濫注意情報 —————
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報	1相当	————— —————

※市区町村長は、河川や雨の情報(警戒レベル相当情報)のほか、地域の土地利用や災害実績なども踏まえ総合的に避難情報等(警戒レベル)の発令判断をすることから、警戒レベルと警戒レベル相当情報が出るタイミングや対象地域は必ずしも一致しません。

※内閣府・気象庁ホームページより一部を抜粋、編集して掲載

自主避難  
について

危険を感じたらすぐ避難しましょう

局地的集中豪雨のような突発的な異常気象の場合には、市からの避難情報が間に合わない場合もあります。その際には、身の危険を感じたら安全な場所にいる家族や知人の家、避難所などへ自主的に避難しましょう。

## 避難に関する2つの情報

災害の危険性が高まった場合、市は避難に関する情報を発令します。

2種類の情報は状況の深刻度に応じて発令しますので、各情報に応じた避難行動をとりましょう。

※警戒レベル5(緊急安全確保)は、すでに災害が発生している状況です。直ちに命を守るための最善の行動をとってください。

### 警戒レベル3・高齢者等避難

人的被害の発生する危険性が高まった状況。

- 避難するのに時間がかかる高齢者など災害時要配慮者やその支援者は避難を始めます。
- 通常の避難行動ができる人は、家族との連絡、非常持ち出し品の用意など避難の準備を始めます。



### 警戒レベル4・避難指示

人的被害の発生する危険性が非常に高まった状況、あるいはすでに人的被害が発生した状況。

- まだ避難していない住民は直ちに避難します。
- 万一避難する余裕がなければ、命を守る最低限の行動を取ります。

